

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町スポーツ少年団交流事業				開始年度	昭和48年度	
基本目標	スポーツレクリエーション活動の充実				終了年度		
担当課(局)	社会教育課	担当係	社会体育係	記入者	岩佐康司	評価者	東 啓三
20年度決算	74	千円	21年度予算	93	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,587 千円		21年度人件費	2,622 千円		事業従事者数	0.36 人 0.36 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町内スポーツ少年団の相互の交流を深めることにより、親睦と団活動の活性化をはかり、心身共に健全な青少年の育成に資する。
事業の内容	高鍋町スポーツ少年団(単位団)の交流

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 参加人数	常任委員会等で働きかけ、参加者を増やしていく。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 会議回数	常任委員会時に説明(年2回)
	2 広報活動数	常任委員会時に広報(年2回)
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	参加人数	目標値	未設定	未設定	160
		実績値	159	139	
		達成率	#VALUE!	#VALUE!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	会議回数	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	広報活動数	目標値	2	2	2
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	スポーツ少年団の親睦を深め、団活動の活性化を目的としているため、育成会・指導者・体育指導委員の協力を得ながら町が行うことが妥当であり、廃止することは目的に反すると考える。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	スポーツ少年団の親睦及び団活動の活性化に繋がっている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	職員の時間外も少なく、育成会・指導者・体育指導委員の協力によりスムーズに大会が行われている。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	更に、関係団体との協働をはかることが必要である。

事務事業名	高鍋町スポーツ少年団交流事業	担当課(局)	社会教育課
-------	----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	スポーツ少年団の相互の交流を深める意味から必要と考える。育成会・指導者の協力は不可欠であることから、常に連携を保つ必要がある。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎方針どおりに推進してもらいたい。
	コスト	現状維持	